

# ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成28年12月15日号

第33号

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
法人

〒314-0121 神栖市溝口1746番地1

TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750

ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>

※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます

メールアドレス [mail@kamisushakyo.com](mailto:mail@kamisushakyo.com)

神栖市内で活動する

## ひまわり会



「前髪は、眉毛が隠れるくらいの長さにしますか？」美容室のようなこのやり取り、神栖市障害者デイサービスセンターのぞみの一室で行われたものです。

カットしているのは”ひまわり会”の深山さん。「道具といすがあれば、どこでもカットができます」と語ります。ひまわり会は、平成8年設立。65歳以下の外出困難な高齢者や障害者を対象に、その方の自宅や福祉施設内での訪問理美容活動を行っています。代表である宮川さんの提案により訪問理美容の講習を受けた美容師5名でサークルが構成されています。

のぞみへの訪問は月1回、取材した12月6日は2名をカットしました。多い時は4人をカットします。お客さんが疲れないよう、短い時間で終わることを心掛けています。ノートに一人ひとりの髪質やカットの内容を細かく記録し、スムーズな活動が継続できるようにしています。

相手の笑顔と、自分が受け入れられたと感じる時に活動の喜びを感じます。訪問を続けるうち、慣れてきた利用者が、施設内を歩いていた深山さんにあいさつをしてくれるようになったそうです。

「自分の持っている技術がお役に立てば、という気持ちで活動を始めましたが、美容室の外に出なければ出会えなかった人や世界があり、発見や学ぶところがたくさんあります。これからも、この活動を続けていきたいですね。」と深山さんは話します。

訪問理美容サービス（利用料：1回2,000円）を利用を希望される方は、下記までご連絡下さい。一度、担当職員が訪問し身体状況を確認させていただきます。

【問い合わせ先】社協ボランティアセンター 神栖地区 TEL：0299-93-1029（担当：下田）

波崎地区 TEL：0479-48-0294（担当：横田）

# 輝き出す“第二の人生” 『輝くための男の講座』報告

神栖市社協が開催した、60代男性を対象とする『輝くための男の講座』に18名の参加がありました。

この講座は、男性のセカンドライフの充実を目的としており、昨年に続き2回目の開催となります。

10月12日から11月12日にかけて4回の講座を、その分野のエキスパートを講師に受講しました。初日は緊張の面持ちだった参加者も、回数を重ねるごとに打ち解け、参加者同士の交流も深まっていきました。輝きを増していく男たちの背中が、頼もしく感じられます。

講座のプログラムは、セカンドライフを充実させるものであると同時に、ボランティア活動にも応用できるものです。参加者からは「このような講座に積極的に参加して、地域とのコミュニケーションを深め、第二の人生をエンジョイしたい」「これからは積極的に地域のため、人のために役立つことをしたい」との声があり、充実した様子がうかがえました。

講座が終わってさっそく、ボランティアセンターでボランティア登録をした方もいました。新たな仲間との出会いと、活動のきっかけ。輝くセカンドライフの始まりです。



初日 網戸の張り替え



2日目 庭木のせん定



3日目 そば打ち



4日目 災害時にも役立つアウトドア料理

## 赤い羽根 共同募金 暖かいお気持ちをお寄せください

神栖市における共同募金運動は、商店、飲食店、医療機関、薬局等に設置させていただいた市内242か所の“募金箱募金”、各地区を単位とする“地域募金”、職場で従業員の皆様に取り組んでいただく“職域募金”などを展開しています。

募金は、茨城県の福祉の充実や大災害発生時の支援活動、市内で実施される学校・企業の“福祉教育出前講座”、介護・医療・保育分野への進学・就職に関心のある高校生を対象とした“進路アシストカレッジ”に使われます。年末年始、募金箱を見かけましたら、皆様の暖かいお気持ちをお寄せください。



募金箱設置店は、社協ホームページ(<http://www.kamisushakyo.com>)でお知らせしています。

ホームページ右側のカテゴリー「共同募金運動」を選択してください。

共同募金についてのお問い合わせは、茨城県共同募金会神栖市支会(神栖市社協内)まで  
<神栖本所>電話 0299-93-0294 担当:名雪 <波崎支所>電話 0479-48-0294 担当:篠塚

# 年末年始、自宅でできるボランティアがあります

まとまった休みを取りやすい年末年始。この休みを活かして、ご自宅でできる使用済み切手やプリペイドカード等の「収集ボランティア活動」があります。みなさんも取り組まれてはいかがでしょうか。下記物品(衣類以外)の寄付は、ボランティアセンターで受け付けています。

## 使用済みの切手やカード(テレホンカード、図書カード、クオカード等)

使用済み切手、カードは茨城県社協に集められ、専門業者が買い取ります。そのお金が茨城県ボランティア基金に積み立てられ、県内のボランティア活動支援に活用されます。※切手は周囲5～10mmの余白を空けて切り取って下さい。



## タオル、布(未使用のもの)



市内の障害者施設へ送られます。障害者施設ではタオルや布を加工して販売しています。その売上げが障害者へ支払われる工賃や施設の活動資金として活用されます。※色や柄、会社名等が入ったものでも構いません。

## ベルマーク・使用済みインクカートリッジ



ベルマークは、2,000種以上の商品に付いています。集められたベルマークは、1点が1円に換算され、教材備品を購入することができます。

使用済みインクカートリッジ(エプソン、キャノン、ブラザー純正品に限ります)は、1個につきベルマーク5点となります。神栖市では、ベルマーク仕分けボランティアが仕分け・集計を行い、東日本大震災の被災校の教材や備品の購入に役立てられています。

## 書き損じハガキ(通常のハガキ、年賀ハガキ等)



書き損じハガキは、「空飛ぶ車いす」の活動支援をしている(公財)日本社会福祉弘済会に送られ、切手に交換されます。協力企業がその切手を購入することで換金され、車いすの修理部品代や輸送費として活用されます。

「空飛ぶ車いす」は、使われなくなった車いすを修理・再生し、車いすが不足している国々に贈る、全国的に展開されている活動です。①車いすの提供者、②修理ボランティア、③海外旅行の手荷物として車いすを運ぶ輸送ボランティア、④現地での受取り運搬ボランティアのリレーで成り立っています。



神栖市ではボランティアサークル「空飛ぶ車いすin神栖」が車いすの修理を行っています。

※修理して海外に贈るための、使わなくなった車いすの寄付も受け付けています。

## 衣類



神栖市社協では、衣類の受け入れを行っておらず、下記の2団体を紹介させていただいています。大掃除で出た、“まだ着られるかも”と迷う衣類などがありませんでしたら、ぜひご活用ください。いずれも、送料は送り主が負担します。

下記団体へ衣類を送るときは、事前に電話で問合せをしてください。

### ■認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン

電話 03-3372-9777 ホームページ <http://www.baj-npo.org/>

集まった古着をリサイクル業者が買取り、その収益がミャンマー、ベトナム支援活動にあてられます。

### ■認定NPO法人 日本救援衣料センター

電話 06-6271-4021 ホームページ <http://www.jrcc.or.jp/>

集められた衣料品がそのまま海外に贈られ、支援に役立っています。

## 神栖市社協波崎支所の入室中止について

神栖市が市内公共施設のアスベスト調査を実施した結果、神栖市はさき福祉センター(神栖市土合本町3-9809-158)内の建材からアスベストが検出されました。このため、はさき福祉センターはアスベスト除去工事終了までの間、閉鎖されています。これに伴い、はさき福祉センター内にある神栖市社協波崎支所も入室中止となっております。詳細が決定次第、神栖市社協広報紙、ホームページにてお知らせいたします。ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

波崎支所にご用のある方は、お手数ですが、事前に0479-48-0294までお電話くださいますようお願いいたします。

## パート職員募集

社協が神栖市の指定管理者として運営している障害者デイサービスセンター(神栖市溝口1746-1)でパート(非常勤)職員を募集します。

**看護職員**(募集人員:1名) 時給 1,300円

勤務時間:週2~4日(週労働時間:16時間程度)

仕事内容:障害者デイサービスセンターにおける看護業務 休日:日曜日ほか週2~4日、

資格要件:看護師、または准看護師

12月31日、1月1日

連絡先:神栖本所 担当:相良(さがら)

処遇等:資格手当、通勤手当(本会規定内)、  
労災保険

電話0299-93-0294 必ずお電話ください。

## シリーズ 私たちの!わくわくサロン自慢

サロン活動は、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが公民館などの身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。このシリーズでは、神栖市内に点在するわくわくサロンの近況やそれぞれの特色、工夫について、そこに集う皆さんに語っていただきます。

11月21日におじゃました『わくわくサロン松原』は、若松や日川地区の高齢者が集うサロンです。

サロンでは、唄や踊り、ゲームなどのレクリエーション、おしゃべりしながらの食事を楽しみます。この日は、定番のボール送り競争で集まった皆さんが盛り上がりました。



この日集まった21名。気の知れた仲間との交流が元気の源。仲の良さが魅力です。

### ココが自慢!

「松原の自慢は、具だくさんのみそ汁と、みんなの仲の良さだね。」と参加者が口を揃えます。「みそ汁は、みんなが家で育てた季節の野菜を持ち寄って、調理の得意な人が塩分に気を付けて作ってるんだよ。年を取ってからだが動かなくなっても、みんな口だけは達者だからね。食べながら世間話、これが仲の良さの元だよ」とのこと。

愛情あふれる手作りのおみそ汁が、サロンを支えます。松原は、笑いとお元気の声があふれ、そこに集う皆さんの心躍る居場所です。

サ ロ ン デ ー タ	サロン名	わくわくサロン松原
	開設日	平成21年1月19日
	開催日時	毎月第3月曜日 10時~14時
	会場	若ノ松区民館
	会員数	33名
	代表者	瀬尾 豊子さん
	参加費	500円
お食事	お弁当、漬け物、おやつ、 具だくさんの手作りみそ汁	



今年もボランティアセンターマガジンをご覧いただき、ありがとうございました。来年も、神栖市内のボランティア情報をたくさん盛り込んで「ボラマガ」を発行していきます。皆様、よいクリスマス、年末年始をお過ごしください。